

真田地域住民支え合い研修会 ～全体研修会～ (演題) 未来予想図、笑顔あふれる真田のまちづくり



- ・日時：10月13日(金)
午後1時30分～午後3時30分
(受付開始 午後1時)
 - ・会場：真田中央公民館 大ホール
 - ・講師：井上信宏さん(信州大学経法学部教授)
“住めば健康になるまちづくり”をテーマに高齢者の健康と暮らしを現場目線で研究されている。
 - ・主催：真田の郷まちづくり推進会議・さなだ福祉のまちづくりを考える会
 - ・共催：長野県長寿社会開発センター上小支部・上田市社会福祉協議会真田地域包括支援センター
 - ・申し込み：72-8055(真田地域包括支援センター 担当：塩入)
- ※お預かりした個人情報は当事業のために利用し、適切かつ安全に管理・運用することに努めます。

お知らせ

第一回公募展「真田の郷を描く」作品展開催のお知らせ

- ・期間 11月11日(土)～11月26日(日)
午前9時～午後8時(火曜日は午後5時まで)
 - ・会場 真田中央公民館
 - ・入場無料
- 「真田の郷大賞」「真田の郷ギャラリー賞」は、来場された皆様の投票で決まります。
投票期間 11月11日(土)～11月23日(木)
お問合せ先 真田の郷を描く公募展実行委員会 堀内和子
電話：0268-73-2365

※この事業は令和5年度上田市活力あるまちづくり支援事業で行います。

<お詫びと訂正>

前回発行のさなぎしんぶん19号でお知らせした2023年度の予算の交付金額に誤りがありました。
(収入の部) 交付金 (誤)5,271,000 → (正)5,462,000 となります。お詫び申し上げます。

ご案内

真田地域の団体等に、テントなどの備品を無料で貸し出しますのでご利用ください。

- ワンタッチテント(2.4×3.6m) ■プロジェクター(EPSON EB-S05 EB-2265U)
 - スクリーン(80・150・300インチ) ■音響セット(ミキサー・スピーカー・マイク)
 - リールコード(30m防滴) ■DVDスレイヤーなど。
- ※貸出の際は申請書を提出していただきます。 ※利用は、非営利活動に限ります。自治会活動やPTA活動など。

地域内で活用されています！

テント、プロジェクター、スクリーン
自治会、NPO法人、各種団体等の活動に利用
いただいています。お気軽にご相談ください。

地域の拠り所 活動拠点にもお越しく下さい！

昨年4月に事務所は真田地域自治センター1階に移転しました。
自治センターにお越しの際には、真田の郷まちづくり推進会議の事務所にもお気軽にお立ち寄りください。

【お問合わせ】

真田の郷まちづくり推進会議
上田市真田町長 7178-1(真田地域自治センター内)
TEL・FAX：0268-55-9422
(平日午前10時～午後4時)

『さなぎ』
真田の郷まちづくり推進会議の定期お知らせの『さなぎしんぶん』。『さなぎ』は幼虫から『さなぎ』の中で組成され蝶となっていきます。『さなぎ』が『蝶』に変化するように地域のいろいろな人が気楽に交じり合って、さらに外の関係を結び合い、楽しさのプロジェクトをベースに地域を考えてまいりたいと思います。



真田の郷まちづくり推進会議広報紙
さなぎしんぶん
編集：真田の郷まちづくり推進会議広報部

さなぎしんぶん sanagi newspaper

第20号

2023年9月16日発行



Instagram・フェイスブックで最新情報が見れます！



令和5年度の地域づくり総会を開催しました。

6月25日に真田中央公民館において「地域づくり総会」を開催しました。

この総会は当会の活動を広く知っていただき、また、地域の課題等を会の活動に反映するために多くの方々に参加していただき懇談する場として毎年開催しています。

本年度は、最近耳にするようになった「コミュニティスクール」をテーマに据えて開催し、自治会長の皆様、地域の学校関係者、そして当会の評議員の皆様にご参加いただきました。

総会は2部構成としており、前段では当会の活動や事業計画などの報告を行い、後段において各小中学校に設置されている「コミュニティスクール」について長野大学教授の早坂淳先生に講演いただきました。その後、各学校区域の参加者のグループに分かれてコミュニティスクールを運営するコーディネーターに活動内容の報告や課題等を発表していただき、それをもとに懇談を行いました。

講演、懇談を通して「コミュニティスクールをもっと知ってほしい」、「地域の皆様に学校と関わっていただきたい」など、多くの意見交換が行われました。

今後は総会の中でいただいた意見等を集約し、更にコミュニティスクールに関わる皆様と協力し、より良いものとなるように検討してまいります。

【お問合わせ】 真田の郷まちづくり推進会議 上田市真田町長 7178-1(真田地域自治センター内)
TEL・FAX：0268-55-9422 (平日午前10時～午後4時)

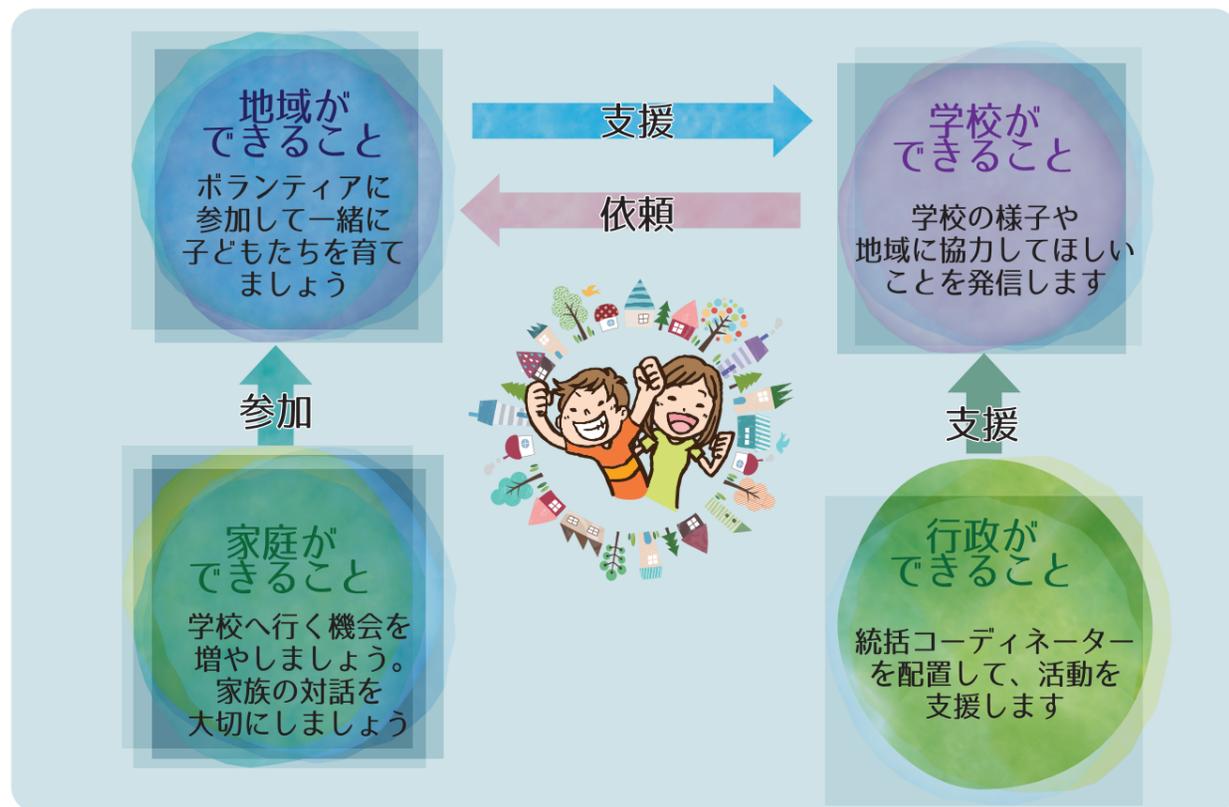
地域のみんで子育てを！

コミュニティスクールとは、学校・家庭・地域が子どもたちをまんやかに、お互いの声に耳を傾け、知恵を出し、一緒に手を取り合って子どもの学びを応援する仕組みです。それぞれの学校の良さや地域の現状に寄り添った活動のスタイルを構築するために「話し合いの場」や「地域の皆さんの活動の場」をもうけています。

コミュニティスクールとは…

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は、複雑化・多様化しています。子どもたちの未来の創造に向けて、学校・家庭・地域がパートナーとして、目標やビジョンを共有しながら、子どもたちを育てていく教育が求められています。

真田地域でも子どもたちを真ん中に、地域の協力をいただきながらコミュニティスクールに取り組んでいます。



コミュニティスクールを充実させるための活動例

- 01 学校行事支援
- 02 学習支援
- 03 登下校の安全
- 04 キャリア教育
- 05 環境設備
- 06 子どもの居場所

取り組みによる効果

- 学校と地域が情報を共有するようになった
- 地域が学校に協力的になった
- 特色ある学校づくりが進んだ
- 学校関係者評価が効果的に行えるようになった
- 地域と連携した取組が組織的に行えるようになった
- 子供の安全・安心な環境が確保された
- 管理職の異動があっても継続的な学校運営がなされている
- 学校が活性化した
- 保護者・地域による学校支援活動が活発になった
- 学校に対する保護者や地域の理解が深まった
- 校長・園長のリーダーシップが向上した

出展：文部科学省 HP

各学校の取り組み

真田中学校

- ・放課後学習支援
⇒年 15 回にわたり数学と英語の 2 教科を水曜日の放課後に行う。
また、3 学期には高校入試に向けた特別講座を開催予定
- ・心のサポート活動
⇒ボランティアルームを開放して地域の方と中学生が集う居場所づくりを行う。その他、不安を抱えた生徒や保護者との相談の場や支援活動を行う。
- ・食育やキャリア教育などに関わる学習支援活動
⇒継続的な農業体験の講師や浴衣着付け体験などの授業へ支援
- ・サルビアの栽培活動支援
⇒5 月生徒と共に定植、夏休み水やり支援等



菅平小・中学校

- ・学校運営委員会へ参観日や学校開放日の案内
- ・読み聞かせ (小学生へ)
- ・スキー活動支援
- ・美術同好会活動【地域ボランティア募集】
- ・登下校時の通学路の見守り
- ・学校内の害虫・害獣 (スズメバチ・クマ等) 対策、駆除支援



長小学校

- ・クラス活動への支援
⇒茶道、サッカー、パソコン、マンガイラスト、料理、バレー・バスケット、アロマテラピークラスの講師
- ・郷土資料室整備、活用準備 (コミュニティルーム)
⇒児童への郷土資料説明会の開催ほか、職員向け研修会開催
- ・読み聞かせ
- ・ふれあい伝承広場
- ・お米作り
- ・登山サポート
- ・登下校時の見守り



傍陽小学校

- ・傍陽のこどもをはくむ会【信州型コミュニティスクール (運営委員会)】
- ・学習支援ボランティア依頼、学校と地域の情報共有
- ・読書ボランティア ⇒読み聞かせ
- ・ふれあい広場 ⇒休み時間の見守りや遊び
- ・ふれあい伝承広場 ⇒昔の遊び体験
- ・見守り隊 ⇒登下校時の見守り
- ・学校応援隊 ⇒PTA 作業のお手伝い、学校の修繕



本原小学校

- ・学校運営委員会
- ・地域コーディネーターによる「総合的な学習の時間」のコーディネート
- ・原っ子応援団の活動
⇒田んぼ、読み聞かせ、りんご、尺八・神楽、スケート、書道、本原の歴史や地層の学習、高原学習 (登山) への支援、学習ボランティア活動 (算数、家庭科、ミシン、国語等全般教科)
- ・伝承広場
- ・見守り隊活動
⇒登校時の見守り、下校時の交通安全、あいさつ運動の実施等



真田っ子の夏休み 勉強・体験と 元気いっぱい!

夏休み自由学習室

7月24日(土)～8月1日(火)の間の7日間、真田中央公民館で「夏休み自由学習室」を開催しました。夏休みの子どもの居場所作りと楽しい思い出作りを目的として、今年で2回目の開催です。

学習、自由時間、休憩(おやつタイム)、お昼ご飯提供(昼食代100円)に加え、今年は日替わりのお楽しみ講座もありました。

延べ225名の小中学生が参加し、ボランティアは中学生81名、一般99名の方にご協力いただきました。

地域のみなさんのご協力のもと、子ども達の笑顔あふれる7日間になりました。



自由学習室ボランティアに参加した感想①



学年の違う子ども達と一緒に勉強し遊び、毎日違う講師のもと様々な体験をさせていただきました。何より良かったのはメリハリのある時間割。ボランティアらしい事なんて

何も出来て無かったけど、参加した息子はこの数日で成長し、さらに遅くなりました。その姿を近くで見ることが出来て本当に嬉しかったです。

是非また来年も親子で参加したいです。(香山)

自由学習室ボランティアに参加した感想②



真田の郷まちづくり推進会議・城間さんと偶然の出会いから、夏休み自由学習室の昼食づくりをさせていただきました。

調理はもちろん「さんま缶の混ぜごはん」「バジルポテト」など集まった食材でどんなメニューを作るか考えるのも、楽しかったです。お手伝いしてくれた皆さま、ありがとうございました。(近藤)

わくわく体験学校

8月2日(水)、3日(木)の2日間、わくわく体験学校実行委員会の主催で「わくわく体験学校」を開催しました。

事前に研修を受けた中学生ボランティアがリーダーとなり、小学生に“ここでしかできない体験”をしてもらいました。参加した小学生は真田地域にある自然の中で様々な体験をして楽しみました。

※わくわく体験学校実行委員会(地域の皆さん、真田中学校の生徒さん、NPO法人やまぼうし自然学校、ふれあいさなだ館、真田中央公民館、真田の郷まちづくり推進会議)





防災部会主催 管平ダムを見学しました 第3回

7月15日「第3回管平ダム見学」が行われました。普段、遠くから見ているダムの上に立ち、ダムの中に立ち入ったの見学は初めての人も多く、座学では職員からの説明に真剣に聞き入っていました。農業用水として、また発電所（下流）としてのダムの役割により、農業や生活にダムが役立っている事を学び、大雨の時の放流や安全についても詳しい説明を聞く事が出来ました。“ダムカード”も頂き良い記念になりました。



学びましょう！

防 災

9月30日（土） 10時～12時 第2回防災人材育成研修会 長小学校にて開催されます。防災に関心のある方の参加を募集します。

10月8日（日） 13時30分～15時30分、真田中央公民館大ホールにて 真田の郷“防災講演会”が開催されます。

講師は、工学博士 技術士の宇津木慎司氏 上田市の各地で講演、開催地を視察し危険箇所や自然災害の起こる理由を解り易く3Dハザードマップを使い説明されます。また、日頃から思っている災害や避難方法など来場者からの質問にもお答えします。

〔防災ポケット〕

ペットボトルに水を入れ凍らせておくと、停電時でも発砲スチロールなどに食材を入れ保冷剤としてある期間食材が保管できます。また、急な発熱や夏場の熱中症予防や手当にも使え冷水としても使えます。お出かけには是非一本お持ちください。



防災人材育成モデル地区形成事業 キックオフ研修会開催

8月20日 このほど 県・信州大学共同研究「防災人材育成モデル地区形成事業」でモデル地区に真田町長地区が指定され、その初回研修会「キックオフ研修会」が中央公民館で開かれました。防災の専門家の講演の後、地図を用いた発災時の避難行動についてテーブルに分かれて意見交換をし、参加者はそれぞれの考えを述べ盛り上がりを見せました。この研修は今回に続き、年に数回行われる予定で、9月は30日には真田町長小学校に場所を移し開催されます。2回目からの参加も可能で、スポット参加も出来ます。



利用していただいています。竹粉碎机

大庭議会

「竹が繁茂して困っている」との自治会員の要請を受け、大庭議会の関係者9名で傍陽川付近で竹の伐採作業と粉碎作業を行いました。

竹粉碎机はとても使いやすかったです。

竹を粉碎した後のチップは、近くの農家の方にたい肥として活用していただきます。

戸沢酒米づくりプロジェクト

酒米の田んぼのそばで邪魔になっている竹を伐採しました。

通常の竹伐採では細かい枝を落とすが大変なのですが、この機械はその作業なくチップになるのありがたいです。

切った竹をその場に放置してもこんなにさっぱりにはならないので、この機械はスゴイです。

また、竹専用のチェーンソーと音を遮断するイヤーマスクをセットで貸し出してもらえるのが気が利いていてすごく助かります。

